

恋愛においても、「あのひとごはんを食べたい」「デートしたい」「つき合いたい」と思われる人がいます。

一緒に何かをしたい人は、「人生を楽しんでいる人」です。

仕事も勉強も恋愛も、全部ひっくるめて楽しんでいるのです。

「楽しんでいる」「イコール」「成功している」ではありません。

稼いでいて、出世してうまくいっているからといって、必ずしも魅力があるわけではないのです。

そういう人でも、別に一緒にごはんを食べたいと思わない人もいます。

一方で、稼いでもないし、出世もしていないのに、毎日、人生が楽しそうな人もいます。

どんな業界にも、たとえ稼いでいなくても、当たったり、外れたり、試したりすることを楽しんでいる人がいます。

30代までは、「楽しんでいる」という基準はありませんでした。

10代は、「一生懸命勉強して社会に出る準備をする」ことです。

20代は、「社会人になって社会の基本を身に付ける」ことです。

ここには楽しむ余裕はありません。

30代になると、とりあえず社会人としてひと通りのことはできているので、何をしたいかわからなくなるのです。

そこで必要となるのが、「楽しむ」という価値軸です。

「こうしたら楽しむことができるよ」という具体例を挙げます。

「しなければならぬのか」と思った時点で、楽しんでいません。

「楽しむ」とは、それをするので、もつと楽しくなるということなのです。

30代を  
楽しむ方法  
01

人生を楽しもう。